



学校だより

札幌市立駒岡小学校
令和6年5月31日
第3号

3つの風船をふくらませよう！

主幹教諭

本校では令和6年度の重点目標に『自然・人・未来』とつながり、主体的に考え、行動する子どもの育成」を掲げています。この目標を子どもたちが日常的に意識しながら学校生活を送ることができるように「自然とのつながり＝**みどりの風船**」「人とのつながり＝**ありがとうの風船**」「未来とのつながり＝**？（はてな）の風船**」と設定し、様々な教育活動においてそれぞれの風船をふくらませるための働きかけをしています。これら3つの風船をふくらませるための令和6年度の具体的な取組をいくつかご紹介します。

森林循環について学ぶ「駒岡緑の少年団活動」

今年度も地域業者、森のピタゴラス、林業技士会と連携し、学校林を舞台とした森林循環についての学習を推進します。ここ数年は薪づくりを中心とした森林の活用に重点をおいていましたが、今年度は下草刈りや剪定・間伐、植樹などの「育樹」をテーマとした学習に取り組みます。

精進川を教材とした6年間のつながいのある学び

【低学年】生活科の学習において、川遊びや川の生き物さがし等に取り組み、精進川のおもしろさや魅力を見付けます。

【中学年】総合的な学習の時間において、川の生き物図鑑の作成や精進川の歴史（駒岡地域と精進川のつながり）について調べる活動に取り組み、精進川に対する見方・考え方を深めます。

【高学年】環境プラザや芸術の森まちづくりセンターと連携した環境学習「ホタル復活プロジェクト」に取り組み、川の環境を守り大切にしていこうとする思いを育みます。

屋上ビオトープを活用した学習活動

屋上庭園での農園活動や札幌市立大学と連携した空間デザインの学習に取り組みます。子どもたちからはすでに「屋上でスイカを育てたい。」「野鳥が集まるように巣箱や餌台を設置したい。」などの声が上がっています。

児童会活動を軸とした子どもが主役の学校づくり

児童会書記局による「あいさつ運動」や「いじめ0宣言」をはじめとし、各委員会で「人とのつながり」を意識した「ありがとうの風船」をふくらませるための取組を推進し、自他尊重の意識を高めます。

学ぶ楽しさを実感し、「？」がふくらむ授業実践

子どもの「やってみたい！」という思いを引き出し、どの子も主体的に学ぶことができる授業実践を目指し、毎月2～3回の授業づくり教員研修に取り組みます。また、引き続き家庭学習・宿題の取組も推進し、自ら学ぶ力の育成に努めます。

子どもたちは駒岡小学校での学びを通して毎年様々な成長や変化を見せ、一人一人がもつ「思い」や「願い」も変容していきます。我々教職員は目の前の子どもたちがもつ「期待感」に応えるために、今年度も新たな取組にどんどん挑戦していきます。